

IV 関係様式

市町村立学校用

■ 中堅教諭等資質向上研修に係る作成文書一覧

文書名		作成者	提出期限
様式1 (P. 18)	研修計画立案のための評価票	(当該中堅教諭) 校長	市町村教育委員会（以下「地教委」）から示された期日に従う。 ※様式1は親展扱い まとめて提出 締切：令和8年5月15日(金) ※様式3は代替がある対象者分のみ
様式2 (P. 19)	研修計画書	(当該中堅教諭) 校長	
様式3 (P. 20)	代替申請書	校長	
様式4 (P. 21)	選択研修変更願	校長	研修計画提出後、変更する場合に提出。
様式5 (P. 22)	選択研修報告書 ※2回以上の研修会は全ての日程終了後、1枚にまとめて提出	当該中堅教諭	地教委から示された期日に従う。 8月末日まで受講分 締切：令和8年9月30日(水) 9月以降受講分 締切：令和9年1月29日(金)
様式6 (P. 23,24)	成果報告書（事後評価票を含む）	(当該中堅教諭) 校長	地教委から示された期日に従う。 ※様式6は親展扱い 締切：令和9年2月26日(金)
様式7 (P. 25)	研修報告書	(当該中堅教諭) 校長	
様式8	教育事務所研修実施計画書	教育事務所	締切：令和8年5月15日(金)
様式9	教育事務所研修実施報告書		締切：令和9年1月29日(金)
依頼文書例 (P. 26)	体験研修依頼状	当該中堅教諭	※体験先に体験1か月前まで
様式例① (P. 27)	校内研修計画書 様式(例)	当該中堅教諭 校長	※学校保管
様式例② (P. 28)	研修の記録(例)	当該中堅教諭	

- 1 上記の各種様式は、総合教育センターホームページからダウンロードして使用する。

◆総合教育センター <https://www.pref.miyagi.jp/site/sokyos/>

「各種様式ダウンロード」→「中堅教諭等資質向上研修」→「中堅教諭等資質向上研修様式一覧（小・中・高・特・幼）」

- 2 提出方法と提出先

(紙媒体又はPDF) (紙媒体又はPDF) (PDF)
(市町村立学校) 校長 →→ 市町村教育委員会 →→ 教育事務所 →→ 総合教育センター

※教育事務所から総合教育センターへの提出は、教職研修班宛てデスクネッツメール（ウェブメール）で提出すること。

※各市町村立学校は、市町村教育委員会から示された期日に従い、市町村教育委員会を経由して総合教育センターに提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

(紙媒体又はPDF) (PDF)
(市立高等学校) 校長 →→ 市教育委員会 →→ 総合教育センター

※市教育委員会から総合教育センターへの提出は、教職研修班宛て電子メールで提出すること。

※市立高等学校は、市教育委員会から示された期日に従い、市教育委員会を経由して総合教育センターに提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

■ 中堅教諭等資質向上研修に係る作成文書一覧

文書名		作成者	提出期限
様式1 (P. 18)	研修計画立案のための評価票	(当該中堅教諭) 校長	※様式1は親展扱い。 まとめて提出 締切：令和8年5月15日(金) ※様式3は代替がある対象者分のみ
様式2 (P. 19)	研修計画書	(当該中堅教諭) 校長	
様式3 (P. 20)	代替申請書	校長	
様式4 (P. 21)	選択研修変更願	校長	研修計画書提出後、変更する場合に提出。
様式5 (P. 22)	選択研修報告書 ※2回以上の研修会は終了後1枚にまとめて提出	当該中堅教諭	8月末日まで受講分 締切：令和8年9月30日(水) 9月以降受講分 締切：令和9年1月29日(金)
様式6 (P. 23、24)	成果報告書(事後評価票を含む)	(当該中堅教諭) 校長	※様式6は親展扱い 締切：令和9年2月26日(金)
様式7 (P. 25)	研修報告書	(当該中堅教諭) 校長	
依頼文書例 (P. 26)	体験研修依頼状	当該中堅教諭	※体験先に体験1か月前まで
様式例① (P. 27)	校内研修計画書 様式(例)	当該中堅教諭 校長	※学校保管
様式例② (P. 28)	研修の記録(例)	当該中堅教諭	

1 上記の各種様式は、総合教育センターホームページからダウンロードして使用する。

◆総合教育センター <https://www.pref.miyagi.jp/site/sokyos/>

「各種様式ダウンロード」→「中堅教諭等資質向上研修」→「中堅教諭等資質向上研修様式一覧(小・中・高・特・幼)」

2 提出方法と提出先

(PDF)
(県立学校) 校長 →→ 総合教育センター

※総合教育センターへの提出は、教職研修班宛てデスクネットメール(ウェブメール)で提出すること。なお、親展扱いの様式については、メールの件名に「親展」と明記すること。

記入例

令和8年度中堅教諭等資質向上研修 研修計画立案のための評価票

様式1

学 校 名		〇〇〇市立〇〇〇学校				職 氏 名		教諭		〇〇 〇〇			
項 目		観 点				自己評価 (○を記入)				校長評価 (○を記入)			
						A B C D				A B C D			
学校の教育力を構成する実践力	授 業 力	教科等に関する最新の高度な専門的知識や技能を持っている。											
		学習指導要領の目標等を達成する。											
		分かる授業づくりの視点を持つ。											
		社会に開かれた教育課程の視点を有している。											
		カリキュラム・マネジメントの助言ができる。											
	生徒指導力	関係機関と連携した個別の教育支援を行う。											
		授業づくり等に関して若手教員への助言ができる。											
		組織的で適切な生活指導を行う。											
		適切な学級等経営と、全校的取り組みを行う。											
		生徒指導的観点から授業や学習の改善を図る。											
子 供 理 解	いじめや登校に不安を抱える子供の問題を理解する姿勢を学校全体で常に共有し、組織的対応と体制整備を支援することができる。												
	教育相談やカウンセリングの最新の知識・技法を身に付けているとともに、若手教員への助言ができる。												
	教職員間・保護者や地域社会・関係機関との信頼関係の下で行動連携を支援することができる。												
	共感的コミュニケーションの力を備えている。												
	子供の成長の段階等に応じた心理に関する最新の高度な専門的知識を持っている。												
学 校 を 支 える 力	子供を多面的・総合的に理解する視点を持ち、若手教員への助言ができる。												
	心のケアの充実のため、子供の心の変化や状況を中長期的に把握する視点を持っている。												
	担当する授業や校務分掌における自己の役割と責任を自覚している。												
	学校運営上自らが担うべき役割を全校的な視点から適切かつ効率的に果たすことができる。												
	他の教職員とのコミュニケーションを保ち、協働に向けた協調性を持つとともに、若手教員の意見等の把握・調整ができる。												
実践力の基盤となる意欲・人間性等	教育への情熱	地域・保護者や学校外の専門家・関係機関との信頼関係の下での連携・協働した教育活動を主導し、若手教員への助言ができる。											
		子供たちに対して深い愛情を持って接している。											
		教員としての高い使命感と情熱を持っている。											
		子供の命を守る強い覚悟を持っている。											
		学校を安全で安心な学びの場とする心構えを持っている。											
	たくましく豊かな人間性	教育者としての高い倫理観と責任感を持っている。											
		精神的なたくましさを備えている。											
		広く豊かな教養と常識を身に付けている。											
		コミュニケーション力を備えている。											
		他者を思いやる心を持っている。											
自己研鑽力	心身の健康を保持し、適切に自己管理ができる。												
	高度専門職としての教育公務員であることを自覚している。												
	自ら学び続け、成長し続ける意欲を持っている。												
	課題意識を持って改善に努め、変革する挑戦心を持っている。												
	客観的な自己分析ができる。												
主な研修歴		例) (H〇〇) 〇〇〇研修会 (H〇〇) 〇〇〇研修会 (R〇) 〇〇〇〇講習 ※欄に入る程度で記入してください。											
校 長 所 見		※打ち込んでいただいて構いません。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">4月1日以降の日付</div> 令和 8 年 4 月 〇 日 〇〇〇市立〇〇〇学校 校長 〇〇 〇〇〇 (公印省略)											

自己評価(個人内評価)

得意
(強み)

A

B

C

D

不得意
(弱み)

どちらも「○」を打ち込んでください。

校長評価

中堅教諭として期待される水準を

A・・・上回る

B・・・やや上回る

C・・・やや下回る

D・・・下回る

小・中・高等学校
義務教育学校
県立小・中・高等学校
特別支援学校小・中・中
学部
用と県立高等学校・特別支援学校高等部・市立高等学校用が
あります。

令和8年度中堅教諭等資質向上研修

記入例

研修計画書

様式2

学校名
校務分掌

〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校
〇〇主任

氏名
担当教科
又は学部

〇〇 〇〇
〇〇科 (該当する場合)

学年
担当
学年

第〇学年

授業者
が授業づくり

【課題】例) 「学校を支える力」を意欲した職務の在り方

校 内 研 修		研 修		備 考
校 内 研 修		選 択 研 修 (会 場 等)		
校内研修	校外研修	基本研修	実践研修	研修 日数
4月	4 / 9 【授業】① 〇〇科の授業における実態調査 【課題】① 校内研修規程、適切な事務処理・会計処理	2		
5月	5 / 8 【課題】② 意識調査と分析 【課題】③ 課題研修内容の企画・立案	2	5 / 1 ~ 基本研修1 (オンデマンド配信) 5 / 29	1
6月	6 / 19 【課題】④ 課題研修内容の検討	1	6 / 19 基本研修2 (総合教育センター)	1
7月	7 / 23 【授業】② 研究授業に向けた学習指導案検討	1	7 / 24 実践研修1 (〇〇教育事務所)	1
8月	8 / 20 【課題】⑤ 課題研修の実践	1	8 / 7 実践研修2 (〇〇教育事務所)	1
9月			9 / 18 実践研修3 (〇〇教育事務所)	1
10月	10 / 9 【授業】③ 研究授業 (公開授業)、事後検討会 10 / 21 【授業】④ 〇〇科の授業における実態調査	2		
11月	11 / 20 【授業】⑤ 研究に関する実	1	11 /	
12月	12 / 18 【課題】⑥ 課題研修のま			
1月	公開授業と事後検討会を必ず設定してください。 ※実践研修で行った模擬授業を受けての実施が望ましい。			
2月				
3月				
計	※ 授業研究 合計 5 ※ 課題研究 合計 6	校内研修 合計 11 日	基本研修 合計 実践研修 合計	選択研修 合計 3 ※ 代替申請 合計 9 日

合計8日以上になるように計画してください。

【小・中学校、義務教育学校、特別支援学校小・中・学部】
「実践研修1〜3」は、各教育事務所の生涯学習計画やホームページを見て、打ち込んでください。

基本研修は「左列」に、実践研修は「右列」に入力してください。

「No.7 その他」の研修を選択した場合は、備考欄に「その他」と記入してください。

代替申請がある場合には、必ず様式3を添付してください。

8〜11日になるように計画してください。

注意!!
この様式に記入しても研修会を申し込んだことにはなりません。
選択研修は、各自の申し込みになります。作成の際は、実施計画P.11〜の選択研修を必ず確認し記入してください。

〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校 教諭 〇〇 〇〇

〇〇 教育委員会 教育長 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 (公印省略)

注) ※は直接数字を打ち込んでください。

令和 8 年度中堅教諭等資質向上研修

代替申請書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇〇市教育委員会教育長 殿

【市町村立学校】

市町村教育委員会教育長宛てで作成してください。

【県立学校】

総合教育センター所長宛てで作成してください。

学校名 〇〇〇市立〇〇小学校

校 長 〇〇 〇〇 (公印省略)

下記のとおり相違ないことを証明し、選択研修の代替を申請します。

記

上の学校名を入力すると、自動入力されます。

学 校 名	〇〇〇市立〇〇小学校
研 修 教 員 氏 名	〇〇 〇〇
代 替 日 数	2 日
該 当 研 修 等	独立行政法人教職員支援機構主催研修
備 考	修了証の写しを添付

「代替日数」と「該当研修等」は、実施計画P.12の例を参照し、総合教育センター担当に問い合わせ、確認の上、入力してください。

修了証等の写しがある場合は、備考欄にも入力してください。

※所定のルートで提出してください。

令和 8 年度中堅教諭等資質向上研修

選 択 研 修 変 更 願

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇〇市教育委員会教育長 殿

【市町村立学校】

市町村教育委員会教育長宛てで作成してください。

【県立学校】

総合教育センター所長宛てで作成してください。

学校名 〇〇〇市立〇〇小学校

校 長 ○〇 ○〇 (公印省略)

下記のとおり、選択研修の変更をしたいので、許可くださるようお願いします。

記

研修会の名称の後に、
「(研修会の主催団体名)」
を必ず記入してください。

中堅教諭氏名		〇〇 ○〇
変 更 前	研 修 会 名	小・中学校特別活動研修会 (宮城県総合教育センター)
	研 修 期 日	令和 8 年 8 月 5 日 (水) (プルダウンリストは、直接入力もできます。)
	研 修 会 場	総合教育センター
	研 修 内 容	今求められる特別活動における「主体的・対話的で深い学び」について講義等を通して理解を深める。また、実践発表と校種別に分かれた授業づくりの協議を通して、特別活動に必要な指導力の向上を図る。
変 更 後	研 修 会 名	総合教育センター・長期研修研究発表会 (宮城県総合教育センター)
	研 修 期 日	令和 9 年 2 月 10 日 (水) ~ 令和 年 月 日 ()
	研 修 会 場	総合教育センター
	研 修 内 容	宮城県の教育課題に向けて研究に取り組んだ「教育課題研究研修」と、研修員が設定したテーマにより教科・領域の指導実践に係る研究に取り組んでいる「実践力向上研究」の研究・研修成果の発表を聴講する。
事 由 (具 体 的 に)		体調不良により 8 月 5 日の小・中学校特別活動研修会を欠席したため、中堅教諭としてこれから学校の力となっていくための知見を深めることを目的として、総合教育センター・長期研修研究発表会の受講への変更を希望します。

※所定のルートで提出してください。

変更に関する具体的な事由を記載してください。
※ 自身の研究テーマを踏まえて考えること。

令和8年度中堅教諭等資質向上研修

選択研修報告書

所属校名	〇〇〇市立〇〇小学校
研修教員氏名	〇〇 〇〇
1 研修会名	道徳教育研修会 小学校・中学校
2 研修期日	令和 8 年 7 月 27 日 (月) ~ 令和 年 月 日 ()
3 研修会場	総合教育センター
4 研修概要 (日程等)	<div> <div>9 : 3 0 (受 付)</div> <div>9 : 5 0 オリエンテーション</div> <div>1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 講義「道徳科の授業づくりと評価」</div> <div>1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 4 0 演習「道徳科の協働による授業づくり」</div> <div>1 5 : 4 0 ~ 1 6 : 0 0 コンプリーション</div> </div> <p>詳細は「6」に記入するので、概要のみで構いません。</p>
5 研修に対する評価	<div> <div>[ア] プルダウンリストから選択してください。</div> </div> <p>※ 今回の研修について、当てはまる記号を下から選んで、[] に記入してください。</p> <p>今後の教育活動において、</p> <div> <div>ア 参考になる内容がとて多かった</div> <div>イ 参考になる内容が比較的多かった</div> <div>ウ 参考になる内容が少ししかなかった</div> <div>エ 参考になる内容がなかった</div> </div>
6 研修の成果・感想等	<p>研修会を通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 受講した内容から特に学んだこと ■ 学校現場で実践したいこと <p>などを具体的に記述してください。</p>

記入上の留意点

- 8月末日までの研修は9月末日までに、それ以降については、1月29日までに提出してください。
 - ※2月中に行われる研修会については、参加後に提出となります。
 - ※2回以上実施する研修会については、8月までに全ての研修が終了していなければ、全日程終了後に1枚にまとめ、1月29日までに提出してください（その都度、分けて提出する必要はありません）。
- 研修会ごとに1枚ずつ作成して提出してください。
- 報告書は必ず、学校長の指導の下作成し、提出してください。

成果報告書

学校名	〇〇市立〇〇〇小学校	職氏名	教諭	〇〇	〇〇
-----	------------	-----	----	----	----

1 主な研修内容と成果

校 内 研 修

【授業研究】テーマ

例) 〇〇科における生徒の主体性を育む授業づくり

自身の【授業研究】テーマについての研究内容を分かりやすくまとめて記入してください。

【課題研究】テーマ

例) 発達障害のある生徒の理解と支援を学ぶ

自身の【課題研究】テーマについての研究内容を分かりやすくまとめて記入してください。

※ 課題研究の一つである校内で企画・運営した研修会について、その様子を記録した写真等の掲載も可。

校 外 研 修

主に、■ 基本研修1～3

■ 実践研修1～3

■ 選択研修

について、どんな学びがあったのかを具体的に記入してください。

2 今後の研修課題

中堅教諭としての自分自身のこれからの展望を含めて、記入してください。

3 中堅教諭等資質向上研修の事後評価

記入例

様式6-2

項 目		観 点	自己評価 (○を記入)		校長評価 (○を記入)			
			C	D	A	B	C	D
学校の教育力を構成する実践力	授 業 力	教科等に関する最新の高度な専門的知識や技能を持っている。						
		学習指導要領の目標等を達成						
		分かる授業づくりの視点を						
		社会に開かれた教育課程の						
		カリキュラム・マネジメントの助言ができる。						
	生徒指導力	関係機関と連携した個別の授業づくり等に関して若手						
		組織的で適切な生活指導を						
		適切な学級等経営と、全校						
		生徒指導の観点から授業や						
		いじめや登校に不安を抱え体制整備を支援することがで						
	子 供 理 解	教育相談やカウンセリングの最新の知識・技法を身に付けているとともに、若手教員への助言ができる。						
		教職員間・保護者や地域社会・関係機関との信頼関係の下で行動連携を支援することができる。						
		共感的コミュニケーションの力を備えている。						
		子供の成長の段階等に応じた心理に関する最新の高度な専門的知識を持っている。						
		子供を多面的・総合的に理解する視点をもち、若手教員への助言ができる。						
学 校 を 支 える 力	心のケアの充実のため、子供の心の変化や状況を中長期的に把握する視点を持っている。							
	担当する授業や校務分掌における自己の役割と責任を自覚している。							
	学校運営上自らが担うべき役割を全校的な視点から適切かつ効率的に果たすことができる。							
	他の教職員とのコミュニケーションを保ち、協働に向けた協調性を持つとともに、若手教員の意見等の把握・調整ができる。							
	地域・保護者や学校外の専門家・関係機関との信頼関係の下での連携・協働した教育活動などを行い、若手教員への助言ができる。							
実践力の基盤となる意欲・人間性等	教育への情熱	子供たちに対して深い愛情を持って接している。						
		教員としての高い使命感と情熱を持っている。						
		子供の命を守る強い覚悟を持っている。						
	たくましく豊かな人間性	学校を安全で安心な学びの場とする心構えを						
		教育者としての高い倫理観と責任感を持って						
		精神的なたくましさを備えている。						
		広く豊かな教養と常識を身に付けている。						
	自己研鑽力	コミュニケーション力を備えている。						
		他者を思いやる心を持っている。						
		心身の健康を保持し、適切に自己管理がで						
	高度専門職としての教育公務員であることを							
	自ら学び続け、成長し続ける意欲を持ってい							
	課題意識を持って改善に努め、変革する挑戦心							
	客観的な自己分析ができる。							
	教員同士で共に学び合う意識を持っている。							

自己評価(個人内評価)

得意
(強み)

A

B

C

D

不得意
(弱み)

研修を通しての**変容**を加味しながら自己評価を行う

どちらも「○」を打ち込んでください。

校長評価

中堅教諭として期待される水準を

A・・・上回る

B・・・やや上回る

C・・・やや下回る

D・・・下回る

研修以前との比較を含め、評価する

以上のとおり報告します。

令和 9 年 〇 月 〇 日

学校名 〇〇市立〇〇〇小学校

研修教員 職・氏名 教諭

〇〇 〇〇

校長所見

※ 打ち込んでいただいて構いません。

「学校名」「職・氏名」は表に学校名・職・氏名を記入すると自動入力されます。

令和 9 年 〇 月 〇 日 〇〇市立〇〇〇小学校

校長 〇〇 〇〇

(公印省略)

(注) ※は直接数字を打ち込んでください。

(公印省略)

令和 年 月 日

(依頼先所属長) 殿

〇〇立〇〇学校 校長 〇〇 〇〇
(公印省略)

令和8年度中堅教諭等資質向上研修に係る体験研修受け入れについて(依頼)

貴職(校・施設等)におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
本校の教育活動につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県では教職経験10年を経過した教職員の資質向上のため中堅教諭等資質向上
研修を実施しております。その一環として、より視野を広め、豊かな人間性を培うことを
目指し、研修内容に「体験研修(異校種、企業・施設・NPO)」を位置付けております。

つきましては、御多用中大変恐縮ですが貴所(校)におきまして、体験研修を下記によ
り受け入れていただきたくお願い申し上げます。

記

1 日 時

2 場 所

3 内 容

4 研修教員名

5 その他

6 (必要によって項目を設ける)

〇〇立〇〇学校
担 当 〇〇 〇〇
電 話
F A X
E-mail

「校内研修計画書」(例)

様式例①

【教科研究】 テーマ		
【課題研究】 テーマ		

学校名 ()

職・氏名 ()

日数	月	日	時間帯	授業研究・教材研究等	課題研究
1			～		
2			～		
3			～		
4			～		
5			～		
6			～		
7			～		
8			～		
9			～		
10			～		

※ 「授業研究・教材研究等」「課題研究」を合わせて、年間8日以上となるように計画し実施します。

氏 名

令和 年 月 日 ()		研修場所	
種 別	校外研修	研修会名	
	校内研修	時間帯	～
		授業研究等 課題研究	
研 修 内 容 等			
研 修 教 員 所 感			
備 考			

※ 校内研修の場合は、備考欄に指導者所感を記入します。